



2021年12月期 第1四半期決算短信(日本基準)(非連結)

2021年5月11日

上場会社名 スターツ出版株式会社
 コード番号 7849 URL <https://starts-pub.jp/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 菊地 修一

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部長 (氏名) 金子 弘

TEL 03-6202-0311

四半期報告書提出予定日 2021年5月12日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年12月期第1四半期の業績(2021年1月1日～2021年3月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年12月期第1四半期	1,337	17.9	176	175.7	184	162.5	80	201.4
2020年12月期第1四半期	1,134	2.0	64	52.0	70	49.1	26	63.5

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年12月期第1四半期	42.15	
2020年12月期第1四半期	13.98	

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年12月期第1四半期	6,013	4,855	80.7	2,529.15
2020年12月期	5,755	4,832	84.0	2,517.05

(参考)自己資本 2021年12月期第1四半期 4,855百万円 2020年12月期 4,832百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年12月期		0.00		35.00	35.00
2021年12月期					
2021年12月期(予想)		0.00		35.00	35.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年12月期の業績予想(2021年1月1日～2021年12月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	2,400	30.1	100		180		110		57.30
通期	5,000	12.7	550	224.8	640	144.1	390	124.9	203.14

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

2021年12月期1Q	1,920,000 株	2020年12月期	1,920,000 株
-------------	-------------	-----------	-------------

期末自己株式数

2021年12月期1Q	147 株	2020年12月期	147 株
-------------	-------	-----------	-------

期中平均株式数(四半期累計)

2021年12月期1Q	1,919,853 株	2020年12月期1Q	1,919,853 株
-------------	-------------	-------------	-------------

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手可能な情報に基づき作成したもので、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は今後の様々な要因によって大きく異なる可能性があります。なお、業績見通し等に関する事項はP. 3'1. 当四半期決算に関する定性的情報の(3)業績予想などの将来予測情報に関する説明、をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
第1四半期累計期間	6
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染拡大の影響により、依然として厳しい状況となりました。

このような状況の中で、当社は「感動プロデュース企業へ」という経営ビジョンのもと、既存の出版社の枠にとらわれず「メッセージやストーリーの詰まったコンテンツとサービスで、新たな時間の使い方や、ライフスタイルを提案し、感動の輪を広げる」ことを目的として、紙・電子出版による雑誌や書籍、コミックの発行、女性向けWEBサイト「オズモール」や小説サイト「野いちご」等の運営、オンラインを含むイベント開催とそれらを掛け合わせたPR・販促ソリューションの提供を軸として事業を運営してまいりました。

当第1四半期累計期間は、新たなスローガンとして「デジタルマーケティングを駆使する出版社へ」を掲げ、デジタルマーケティングを活用した自社サービスの認知向上と市場における影響力の拡大、クライアントへのソリューション提案に注力してまいりました。書籍、コミックの販売では、発行点数の増加、SNS等を活用した販促施策が奏功し好調に推移いたしました。一方で、新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け、レストラン等の施設予約サービス「オズのプレミアム予約」では、緊急事態宣言の発出等による外出自粛要請、飲食店等の掲載施設の休業や営業時間短縮等により利用者数が大きく減少いたしました。また、雑誌及びWEB広告の掲載見合わせ、タイアップイベントの延期等が発生いたしました。

このような営業活動の結果、当第1四半期累計期間の売上高は13億37百万円（前年同期比17.9%増）、営業利益は1億76百万円（前年同期比175.7%増）、経常利益は1億84百万円（前年同期比162.5%増）、四半期純利益は80百万円（前年同期比201.4%増）となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

なお、当第1四半期累計期間より、報告セグメントの名称を従来の「東京マーケティングドメイン」を「メディアソリューション事業」に、「投稿コンテンツドメイン」を「書籍コンテンツ事業」に変更しております。この報告セグメントの名称変更がセグメント情報に与える影響はありません。

<メディアソリューション事業>

メディアソリューション事業では、オリジナルのマーケティング・モデルを創造するという戦略のもと、当社の独自基準で厳選したビューティサロン、ホテル、レストラン等の施設予約サービスを提供する「オズのプレミアム予約」と、「オズモール」「オズマガジン」「メトロミニッツ」等のメディアと公式SNSによる情報発信、SNSコミュニティ「東京女子部」によるインフルエンサーマーケティングや「オズモール」の会員組織を活用したマーケティング支援等を組み合わせたPR・販促ソリューションを中心に展開してまいりました。

「オズのプレミアム予約」では、ユーザー満足度の高い施設の開拓と予約プランの開発、SEO等のユーザー集客対策の強化、CRM強化によるユーザーロイヤルティの向上に注力してまいりました。しかしながら、新型コロナウイルス感染症拡大による外出自粛要請及び掲載施設の休業、営業時間短縮の影響を受け利用者数が減少しております。PR・販促ソリューションでは、フリーマガジン「メトロミニッツ」のリニューアル、SNSや動画、オンラインイベントを組合わせた提案が奏功し受注は復調しておりますが、緊急事態宣言の発出等により雑誌及びWEB広告の掲載見合わせ、タイアップイベントの延期等が発生したことにより、前年同期と比較して売上は微減となりました。

このような営業活動の結果、メディアソリューション事業の売上高は5億66百万円（前年同期比22.7%減）、営業損失は1億15百万円（前年同期は、営業損失9百万円）となりました。

<書籍コンテンツ事業>

書籍コンテンツ事業では、書籍、コミックの発行点数の増加、SNS等を活用した販促施策に注力してまいりました。書籍の販売は、SNS等を活用した販促施策が奏功し、「スタート出版文庫」において複数のヒット作品が生まれたこと、「ベリーズファンタジー」「野いちごジュニア文庫」の販売増加が寄与したことなどにより好調に推移いたしました。コミックの販売は、発行点数の増加や新規販路の開拓、昨年12月に創刊した異世界ファンタジーレーベル「ベリーズファンタジーコミックス」の販売増加が寄与したことにより、前事業年度から引き続き好調に推移いたしました。

利益面では、利益率の高い紙の書籍の重版及び電子コミック、電子書籍の販売が増加したことにより、前年同期と比較して利益率が上昇いたしました。

このような営業活動の結果、書籍コンテンツ事業の売上高は7億70百万円（前年同期比92.0%増）、営業利益は3億18百万円（前年同期比205.3%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債、純資産の状況

(資産)

当第1四半期会計期間末の総資産は、前事業年度末と比べて2億57百万円増加し、60億13百万円となりました。流動資産は、現金及び預金が5億7百万円増加した一方で、売掛金が87百万円、その他流動資産が1億80百万円減少したこと等により、前事業年度末に比べて2億60百万円増加し、48億91百万円となりました。

固定資産は、前事業年度末と比べて2百万円減少し、11億22百万円となりました。

(負債)

当第1四半期会計期間末の負債は、前事業年度末と比べて2億34百万円増加し、11億57百万円となりました。流動負債は、未払法人税等が1億12百万円、賞与引当金が73百万円増加したこと等により、前事業年度末と比べて2億49百万円増加し、9億72百万円となりました。

固定負債は、前事業年度末と比べて15百万円減少し、1億84百万円となりました。

(純資産)

当第1四半期会計期間末の純資産は、前事業年度末に比べて23百万円増加し、48億55百万円となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第1四半期累計期間における現金および現金同等物(以下「資金」という。)は、前事業年度末に比べ5億7百万円増加し、17億5百万円となりました。

当第1四半期累計期間における各キャッシュ・フローの状況は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、法人税等の支払額8百万円、たな卸資産の増加13百万円による資金の使用の一方で、税引前四半期純利益1億84百万円、売上債権の減少87百万円、その他の資産の減少1億58百万円等の資金の獲得により、5億88百万円の資金を獲得(前年同四半期は2億94百万円の資金を獲得)いたしました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、「オズモール」のシステム開発等の無形固定資産の取得12百万円等により、15百万円の資金を使用(前年同四半期は30百万円の資金を使用)いたしました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、配当金の支払により、66百万円の資金を使用(前年同四半期は66百万円の資金を使用)いたしました。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想に関しましては、2021年2月10日発表の「2020年12月期 決算短信(非連結)」に記載しました第2四半期累計期間及び通期の業績予想に変更はありません。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2020年12月31日)	当第1四半期会計期間 (2021年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,198,132	1,705,252
売掛金	1,606,714	1,518,843
製品	49,225	57,906
仕掛品	43,625	48,011
前払費用	21,577	42,097
未収還付法人税等	27,466	22,001
関係会社預け金	1,500,000	1,500,000
その他	238,286	57,715
返品債権特別勘定	△53,452	△59,749
貸倒引当金	△804	△954
流動資産合計	4,630,769	4,891,124
固定資産		
有形固定資産		
建物附属設備(純額)	18,804	18,362
工具、器具及び備品(純額)	8,963	9,872
有形固定資産合計	27,767	28,235
無形固定資産		
商標権	1,069	987
ソフトウェア	246,707	228,169
ソフトウェア仮勘定	2,843	3,456
電話加入権	2,376	2,376
無形固定資産合計	252,996	234,989
投資その他の資産		
親会社株式	620,775	629,223
投資有価証券	94,044	99,290
差入保証金	96,995	96,995
その他	32,373	33,310
投資その他の資産合計	844,189	858,819
固定資産合計	1,124,953	1,122,044
資産合計	5,755,723	6,013,168

(単位：千円)

	前事業年度 (2020年12月31日)	当第1四半期会計期間 (2021年3月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	332,573	324,997
未払金	35,998	31,684
未払費用	27,934	39,055
未払法人税等	-	112,036
未払事業所税	4,286	795
未払消費税等	20,752	51,994
前受金	3,803	7,068
預り金	42,485	45,071
賞与引当金	24,500	98,000
返品調整引当金	227,347	258,874
ポイント引当金	3,524	3,363
流動負債合計	723,205	972,940
固定負債		
繰延税金負債	133,914	115,588
退職給付引当金	12,639	13,551
役員退職慰労引当金	53,600	55,500
固定負債合計	200,154	184,639
負債合計	923,359	1,157,580
純資産の部		
株主資本		
資本金	540,875	540,875
資本剰余金	536,125	536,125
利益剰余金	3,306,216	3,319,941
自己株式	△350	△350
株主資本合計	4,382,866	4,396,591
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	449,496	458,996
評価・換算差額等合計	449,496	458,996
純資産合計	4,832,363	4,855,587
負債純資産合計	5,755,723	6,013,168

(2) 四半期損益計算書
(第1四半期累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年3月31日)	当第1四半期累計期間 (自 2021年1月1日 至 2021年3月31日)
売上高	1,134,175	1,337,053
売上原価	696,166	714,979
売上総利益	438,008	622,073
返品調整引当金戻入額	211,470	227,347
返品調整引当金繰入額	187,935	258,874
差引売上総利益	461,543	590,547
販売費及び一般管理費	397,460	413,844
営業利益	64,083	176,702
営業外収益		
受取利息	1,904	1,904
貸倒引当金戻入額	1,076	-
雑収入	3,187	5,647
営業外収益合計	6,169	7,551
営業外費用		
雑損失	61	-
営業外費用合計	61	-
経常利益	70,191	184,253
特別損失		
固定資産除却損	-	0
特別損失合計	-	0
税引前四半期純利益	70,191	184,253
法人税、住民税及び事業税	63,572	125,853
法人税等調整額	△20,226	△22,519
法人税等合計	43,346	103,334
四半期純利益	26,845	80,919

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第1四半期累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年3月31日)	当第1四半期累計期間 (自 2021年1月1日 至 2021年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益	70,191	184,253
減価償却費	31,318	30,623
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△767	149
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	1,900	1,900
賞与引当金の増減額(△は減少)	75,000	73,500
退職給付引当金の増減額(△は減少)	2,574	911
返品債権特別勘定の増減額(△は減少)	△16,265	6,296
返品調整引当金の増減額(△は減少)	△23,535	31,526
ポイント引当金の増減額(△は減少)	329	△160
受取利息及び受取配当金	△1,904	△1,904
売上債権の増減額(△は増加)	304,173	87,871
たな卸資産の増減額(△は増加)	△5,435	△13,067
その他の資産の増減額(△は増加)	△17,595	158,992
仕入債務の増減額(△は減少)	△27,375	△7,575
未払金の増減額(△は減少)	7,768	△3,243
未払消費税等の増減額(△は減少)	△673	31,241
その他の負債の増減額(△は減少)	13,493	13,480
その他	△7,707	146
小計	405,488	594,943
利息及び配当金の受取額	1,904	1,904
法人税等の支払額	△113,368	△8,499
営業活動によるキャッシュ・フロー	294,024	588,348
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△15,231	△2,106
無形固定資産の取得による支出	△14,814	△12,904
投資活動によるキャッシュ・フロー	△30,046	△15,010
財務活動によるキャッシュ・フロー		
配当金の支払額	△66,405	△66,217
財務活動によるキャッシュ・フロー	△66,405	△66,217
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	197,572	507,119
現金及び現金同等物の期首残高	1,304,240	1,198,132
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,501,813	1,705,252

(4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(会計上の見積りに対する新型コロナウイルス感染症の影響について)

前事業年度の有価証券報告書の(追加情報)(会計上の見積りに対する新型コロナウイルス感染症の影響について)に記載した新型コロナウイルス感染症拡大の影響に関する仮定について重要な変更はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期累計期間(自 2020年1月1日 至 2020年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント		計	調整額(注)	四半期損益 計算書計上額
	メディアソリューション事業	書籍コンテンツ事業			
売上高					
外部顧客への売上高	732,923	401,251	1,134,175	—	1,134,175
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	732,923	401,251	1,134,175	—	1,134,175
セグメント利益又は損 失(△)	△9,024	104,166	95,141	△31,058	64,083

(注) 1. セグメント利益の調整額△31,058千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用になります。

2. セグメント利益は、四半期損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期累計期間(自 2021年1月1日 至 2021年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント		計	調整額(注)	四半期損益 計算書計上額
	メディアソリューション事業	書籍コンテンツ事業			
売上高					
外部顧客への売上高	566,611	770,441	1,337,053	—	1,337,053
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	566,611	770,441	1,337,053	—	1,337,053
セグメント利益又は損 失(△)	△115,471	318,031	202,559	△25,857	176,702

(注) 1. セグメント利益の調整額△25,857千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用になります。

2. セグメント利益は、四半期損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3. 当第1四半期累計期間より、報告セグメントの名称を従来の「東京マーケティングドメイン」を「メディアソリューション事業」に、「投稿コンテンツドメイン」を「書籍コンテンツ事業」に変更しております。この報告セグメントの名称変更がセグメント情報に与える影響はありません。なお、前第1四半期累計期間の報告セグメントについても、変更後の名称で表示しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。